

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「平成30年秋に多発した急性弛緩性麻痺に関する臨床研究」に関する研究実施のお知らせについて

福岡歯科大学では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2024年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2018年8月1日から2018年12月31日までに、急性弛緩性麻痺として国に報告された15歳未満の患者さん67名が対象です。

この研究においては、皆様の個人情報漏洩することを防止するため、個人を容易に識別できる情報（氏名、生年月日、カルテ番号など）をすべて削除して実施されます。

2. 研究の目的や意義について

平成30年秋は、15歳未満の急性弛緩性麻痺の患者さんが、国に多数報告されました。このため、国立感染症研究所は「急性脳炎・脳症・急性弛緩性麻痺の実態・病態解明に関する研究」（受付番号965：平成31年1月9日承認 研究期間 承認日～2022年3月末日）の一環として、全国調査を実施し、急性弛緩性麻痺の患者さん67名の臨床情報を集めました。本研究は、国立感染症研究所の実施している研究の一部であり、集められた臨床情報を解析することで、国内で多発した急性弛緩性麻痺症例の臨床的特徴を神経生理学的視点から明らかにするものです。

3. 研究の方法について

この研究では、国立感染症研究所（東京都新宿区戸山1-23-1）が、「2018年秋の急性弛緩性麻痺患者の全国調査」で集めた臨床調査資料（調査票、神経生理検査結果）を利用します。なお、臨床調査資料は、個人を容易に識別できる情報（氏名、生年月日、

カルテ番号など) はすべて削除されています。

本研究では、すでに集められている臨床調査資料から、臨床データ(性別、年齢、発症日、症状ピーク日、四肢の筋力、神経生理検査結果(運動神経伝導検査、感覚神経伝導検査、筋電図、その他誘発電位))を取得し、統計解析を行い、急性弛緩性麻痺の神経生理学的特徴を明らかにします。

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野において同分野教授の鳥巢浩幸の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 総合医学講座小児科学分野
研究責任者	福岡歯科大学 総合医学講座小児科学分野 教授 鳥巢 浩幸

研究統括施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名
	国立感染症研究所 感染症疫学センター 室長 多屋馨子

6. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 総合医学講座小児科学分野 教授 鳥巢 浩幸 連絡先: [TEL] 092-801-0411 [FAX] 092-801-3673 メールアドレス: torisu@college.fdcnet.ac.jp
---------------	---

(作成日: 2019年12月5日 最終修正日: 2021年12月14日)